

平成 29年 09月 01日

国土交通大臣 殿

地域型住宅グリーン化事業 適用申請書
【平成29年度】

本申請書の内容により、地域型住宅グリーン化事業の適用を申請します。
この申請書及び添付資料に記載の事項は、事実と相違ありません。

地域型住宅の名称 活木活木(いきいき)住宅

グループの名称 いえもりの会北東北

直近採択グループ番号 04-0215-0061

(グループ代表者)

代表者名 女澤 克行 代表者印

代表者所属先 有限会社女澤工務店

代表者所在地 岩手県久慈市夏井町鳥谷第6地割35番地

代表者電話番号 0194-53-4645

(グループ事務局)

事務局事業者名 有限会社マルヒ製材

事務局担当者名 太田 辰男 印

事務局郵便番号 028-0001

事務局所在地 岩手県久慈市夏井町大崎第15地割1番地1

事務局電話番号 0194-53-2800

事務局FAX 0194-53-2238

事務局担当者E-mail ohta@maruhiseizai.co.jp

B. 平成29年度における補助対象の木造住宅の申請要望戸数、地域材加算要望戸数、三世代同居対応加算要望戸数(必須)	長寿命型(長期優良住宅) 経験工務店による申請戸数	申請が確実(上限100万円)		15	戸		
		加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実(上限20万円)	10	戸		
			上記の内、三世代同居加算の申請が確実(上限30万円)	3	戸		
		申請が未確定(上限100万円)		5	戸		
		加算申請	上記の内、地域材加算の申請が未確定(上限20万円)	2	戸		
			上記の内、三世代同居加算の申請が未確定(上限30万円)	2	戸		
	長寿命型(長期優良住宅) 未経験工務店による申請戸数	申請が確実(上限100万円)		2	戸		
		加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実(上限20万円)	1	戸		
			上記の内、三世代同居加算の申請が確実(上限30万円)	1	戸		
		申請が未確定(上限100万円)		1	戸		
		加算申請	上記の内、地域材加算の申請が未確定(上限20万円)	1	戸		
			上記の内、三世代同居加算の申請が未確定(上限30万円)	1	戸		
	高度省エネ型(認定低炭素住宅)の申請戸数	申請が確実(上限100万円)		3	戸		
		加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実(上限20万円)	2	戸		
			上記の内、三世代同居加算の申請が確実(上限30万円)	1	戸		
		申請が未確定(上限100万円)		1	戸		
		加算申請	上記の内、地域材加算の申請が未確定(上限20万円)	1	戸		
			上記の内、三世代同居加算の申請が未確定(上限30万円)	1	戸		
	高度省エネ型(性能向上計画認定住宅)の申請戸数	申請が確実(上限100万円)		0	戸		
		加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実(上限20万円)	0	戸		
			上記の内、三世代同居加算の申請が確実(上限30万円)	0	戸		
		申請が未確定(上限100万円)		0	戸		
		加算申請	上記の内、地域材加算の申請が未確定(上限20万円)	0	戸		
			上記の内、三世代同居加算の申請が未確定(上限30万円)	0	戸		
高度省エネ型(ゼロ・エネルギー) 経験工務店(4戸(8戸)以上)による申請戸数	申請が確実(上限150万円)		0	戸			
	加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実(上限20万円)	0	戸			
		上記の内、三世代同居加算の申請が確実(上限30万円)	0	戸			
	申請が未確定(上限150万円)		0	戸			
	加算申請	上記の内、地域材加算の申請が未確定(上限20万円)	0	戸			
		上記の内、三世代同居加算の申請が未確定(上限30万円)	0	戸			
高度省エネ型(ゼロ・エネルギー) 未経験工務店(4戸(8戸)未満)による申請戸数	申請が確実(上限165万円)		0	戸			
	加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実(上限20万円)	0	戸			
		上記の内、三世代同居加算の申請が確実(上限30万円)	0	戸			
	申請が未確定(上限165万円)		0	戸			
	加算申請	上記の内、地域材加算の申請が未確定(上限20万円)	0	戸			
		上記の内、三世代同居加算の申請が未確定(上限30万円)	0	戸			
C. 平成29年度当初予算における補助対象の優良建築物の申請要望棟数及び床面積	優良建築物の申請棟数	申請が確実	0棟	/			
			0㎡				
		申請が未確定	0棟				
			0㎡				
D. 当提案が採択された場合の各住宅事業者における補助対象戸数の配分ルール(必須)	採択棟数の過半を申請した段階で、施工構成員の通知、その後は毎月通知し事務局で施工構成員に公平に戸数が、配分されるように役員会などを通じ調整を図る。						
E. 平成28年度の執行状況(必須)	長寿命型(長期優良住宅)						
	当初予算	採択戸数	9戸	交付申請戸数	9戸	完了実績(竣工予定含む)戸数	9戸
	補正予算	採択戸数	1戸	交付申請戸数	1戸	完了実績(竣工予定含む)戸数	1戸
	高度省エネ型(認定低炭素住宅)						
	当初予算	採択戸数	1戸	交付申請戸数	0戸	完了実績(竣工予定含む)戸数	0戸
	補正予算	採択戸数	0戸	交付申請戸数	0戸	完了実績(竣工予定含む)戸数	0戸
	高度省エネ型(性能向上計画認定住宅)						
	当初予算	採択戸数	0戸	交付申請戸数	0戸	完了実績(竣工予定含む)戸数	0戸
	補正予算	採択戸数	0戸	交付申請戸数	0戸	完了実績(竣工予定含む)戸数	0戸
	高度省エネ型(ゼロ・エネルギー住宅)						
	当初予算	採択戸数	0戸	交付申請戸数	0戸	完了実績(竣工予定含む)戸数	0戸
	補正予算	採択戸数	0戸	交付申請戸数	0戸	完了実績(竣工予定含む)戸数	0戸
優良建築物型							
当初予算	採択棟数	0棟	交付申請戸数	0棟	完了実績(竣工予定含む)棟数	0戸	
当初予算	採択床面積	0㎡	交付申請床面積	0㎡	完了実績(竣工予定含む)床面積	0㎡	

1. 地域型住宅の名称・対象地域(必須)	(地域型住宅の名称) 活木活木(いきいき)住宅	(地域型住宅供給対象地域) 青森県、岩手県、秋田県
2. グループの名称・結成年(必須)	(グループの名称) いえもりの会北東北	(結成年) 2009 年
3. 過去のグリーン化事業採択グループ番号(必須)	04-0215-0061	
4. 地域型住宅グリーン化事業のねらいに対する取り組み ※記入した内容において「必ず実施する取組み」の場合は◎印、「グループが目指す目標」の場合は○印を右欄に記入してください。 ※住宅と建築物(非住宅)の両方を申請する場合において、取組に違いがある場合は、その旨を具体的に記入してください。		
ア. 特徴ある地域型住宅の目標設定		
【平成29年度対応方針】		◎、○ 記入欄
①地域の気候・風土等に根差した地域型住宅の重視する性能	低炭素、ゼロエネ基準を取り入れた耐震等級2、耐風等級1以上など品質が数値化された住宅。 構造材は積雪荷重を考慮し、許容応力度計算かスパン表を用いる	◎
②地域の気候・風土等に根差した地域型住宅の建て方や様式	地域温暖化や環境の保全に配慮 「木造軸組工法住宅の横架材及び基礎スパン表」(住木センター)を使用又は、許容応力度計算を行う	◎
③地域の気候・風土等に根差した地域型住宅のデザインルール	隣家への落雪への配慮した屋根のデザイン 日照不足の解消及び風雪に考慮した間取りやデザイン 外壁劣化対策として軒の出を600以上とする	○
④①～③の背景	東日本大震災等の地震多発地帯、寒冷・多雪地域で年間の温度差が大きい、冬期間や偏西風による日照不足など、住宅を取り巻く環境が厳しい地域である。 高齢化が進み3世代住宅、平屋の高齢者対応住宅のニーズがある	○
⑤その他 ※上記項目以外でグループ独自のルール・目標があれば記入してください。	長期優良住宅の未経験者が減った為、新たに低炭素住宅、ゼロエネルギー住宅への取り組みを強化する。 内容の把握や申請までのフローなどを、講師を招き講習会の定期開催を実施	◎
イ. 効率的な住宅生産体制の整備		
【平成29年度対応方針】		◎、○ 記入欄
a		
①-1 用材の寸法規格化	■ 行っていない □ 行っている → 内容: 通柱を120角 地域材集成材及び乾燥材の使用 床合板受け材を90×60・60×45	○
①-2 使用建材の統一	□ 行っていない ■ 行っている → 内容: 2階床下地材に構造用合板 24mm以上を使用	◎
①-3 標準仕様の設定	□ 行っていない ■ 行っている → 内容: 柱・2階床梁桁に集成材及び乾燥材を使用 2階床 水平構面の強化、床倍率 3倍 (24mm以上、千鳥張り 4周と中 N75釘打ち、受け材90*60@910)	◎
②-1 建材・資材調達の商品化	□ 行っていない ■ 行っている → 内容: 前年度実績数量により、構成員間で集成材を年間契約	◎
②-2 調達事務の合理化	□ 行っていない ■ 行っている → 内容: 年間契約単価により、個別見積の合理化を図っている。	◎
③ 生産の合理化等に向けた検討委員会等の設置	□ 行っていない ■ 行っている → 内容: 施工・製材・プレカット・建材等が参加し、合板カット・サイディングプレカット・羽柄材プレカットなど現場作業の省力化・ごみを出さない・環境衛生等の検討会を設置している。	◎
④ 生産の合理化等に向けて事務局が果たす役割	□ ない ■ ある → 内容: 新工法、合理化商品、施工合理化成功事例などを、情報メディアから取得選択した情報を、構成員へメール配信している、又グリーン化推進委員会で開催し検討して頂いている。	○
b.		
① グループの信頼性向上に向けた施工基準	□ ない ■ ある → 内容: JBN編集「木造住宅工事管理の実務」を施工基準とする。	○
② グループの信頼性向上に向けた検査ルール	□ ない ■ ある → 内容: JBN編集「木造住宅工事管理の実務」の現場チェックシートにて確認及び現場写真	○
③ グループの信頼性向上に向けた見積・積算のルール	□ ない ■ ある → 内容: 坪単価一括見積ではなく、工事種別に細目を付けて見積をし、顧客に丁寧な説明を行い、信頼を得る	◎
④ グループの信頼性向上に向けたその他の具体的取組	□ ない ■ ある → 内容: 施工会社のHPの充実を図り、顧客への情報提供を図る	○
その他 ※上記項目以外でグループ独自のルール・目標があれば記入してください。		

※) 行の高さについては記載する文章の長さなどにより適宜、調整して下さい。

1. 地域型住宅の名称・対象地域(必須)	(地域型住宅の名称) 活木活木(いきいき)住宅	(地域型住宅供給対象地域) 青森県、岩手県、秋田県
2. グループの名称・結成年月(必須)	(グループの名称) いえもりの会北東北	(結成年) 2009 年
3. 過去のブランド化事業採択グループ番号(必須)	04-0215-0061	

4. 地域型住宅グリーン化事業のねらいに対する取り組み ※記入した内容において「必ず実施する取組み」の場合は◎印、「グループが目指す目標」の場合は○印を右欄に記入してください。
※住宅と建築物(非住宅)の両方を申請する場合において、取組に違いがある場合は、その旨を具体的に記入してください。

ウ. 長期にわたる住宅メンテナンス体制の整備

【平成29年度対応方針】		◎、○ 記入欄
a	① 住宅履歴情報の蓄積	
①-1	内容・蓄積の共通ルール <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 維持管理計画書と指定図書を、住宅情報として蓄積・保管・管理又は、住宅履歴情報機関を利用	◎
①-2	情報サービス機関の活用 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: JBN いえもりから等実施	○
①-3	履歴情報蓄積の確認手法 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 事務局にメール・FAXで報告	◎
②	メンテナンス基準の整備	
②-1	点検の共通ルール <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 指定点検期間に維持管理計画に基づき実施及び訪問時、災害発生時の臨時点検	◎
②-2	補修の共通ルール <input checked="" type="checkbox"/> ない <input type="checkbox"/> ある → 内容: 木造住宅メンテナンスマニュアル「木造住宅の耐久設計と維持管理・劣化診断」による	○
②-3	点検補修実施の確認手法 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 事務局にメール・FAXで報告	◎
③	住まいの管理	
③-1	住まい管理勉強会の実施 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 木造住宅メンテナンスマニュアル「木造住宅の耐久設計と維持管理・劣化診断」にて総会似て実施	○
③-2	DIY体験会等の実施 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 8月上旬 親子木工教室の実施	◎
③-3	その他の相談会等の実施 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 完成見学会・地域イベント(住宅祭等)を通じ実施	◎
④	維持管理委員会等の設置 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: グリーン化事業推進委員会似て実施	○
⑤	その他の維持管理の手法 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 天災の種類に応じた、点検項目を設け実施	◎
b	① グループ構成員の倒産廃業時のバックアップルール <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 近隣施工構成員を、事務局が選定し紹介	◎
②	過去の瑕疵内容等に学ぶ勉強会の実施 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 住宅保証会社による、年1回実施	○
その他	※上記項目以外でグループ独自のルール・目標があれば記入してください。	◎
クレームの実例と処置方法及び、事前対策を構成員間で共有する管理情報メールを、構成員に発信している。		

エ. グループの技術力の向上

【平成29年度対応方針】		◎、○ 記入欄
a	① 未経験工務店等への施工技術研修会等の開催 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: JBN 主催の技術講習会への参加	◎
②-1	品質管理のための共通ルール <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 「木造住宅工事管理に実務」を基準とする	◎
②-2	上記共通ルールが守られていることの確認手法 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 現場検査チェックシート及び現場施工記録写真	◎
③-1	需給計画の策定 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 安心・安全住宅の推進、耐震等級3の住宅建築	○
③-2	技術力向上のための中長期的な計画 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 耐震等級3住宅を目標とし、地盤、基礎、木構造の研修会の実施	○
④	③に基づく業種ごとの合理化の取組 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: モデルによる木造構造計算による試算による、技術的検討及び見積書の作成	○
b	①-1 省エネ技術講習会への施工事業者社員の参加人数 昨年度までの終了者数 28 今年度の参加目標人数 2	◎
①-2	省エネ技術講習会への請負技能者等の参加人数 昨年度までの終了者数 24 今年度の参加目標人数 2	◎
②	省エネ技術講習会への参加促進のための取組 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: HP等で講習開催情報を得て、未受講者に受講させる	◎
c	① 新たな技術等の導入 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: トリプル断熱サッシの導入	○
②	新たな技術等の開発 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 地域材南部赤松を使用し、巾ハギ3層床パネル 28mm 1820×910の開発	○
その他	※上記項目以外でグループ独自のルール・目標があれば記入してください。	◎
大規模リフォーム物件が多くなり、経験の浅い技術者は対応に苦慮している、構成員間相互の技術指導が必要となっている。現場指導を含めいっそうの交流を計る		

※) 行の高さについては記載する文章の長さなどにより適宜、調整して下さい。

1. 地域型住宅の名称・対象地域(必須)	(地域型住宅の名称) 活木活木(いきいき)住宅	(地域型住宅供給対象地域) 青森県、岩手県、秋田県
2. グループの名称・結成年月(必須)	(グループの名称) いえもりの会北東北	(結成年) 2009年
3. 過去のブランド化事業採択グループ番号(必須)	04-0215-0061	
4. 地域型住宅グリーン化事業のねらいに対する取り組み ※記入した内容において「必ず実施する取組み」の場合は◎印、「グループが目指す目標」の場合は○印を右欄に記入してください。 ※住宅と建築物(非住宅)の両方を申請する場合において、取組に違いがある場合は、その旨を具体的に記入してください。		
オ. 地域の産業・住文化・景観等への寄与		
【平成29年度対応方針】		◎、○ 記入欄
a	<p>地域材利用に関する</p> <p>① 共通 ルール(必須)</p> <p>② 地域材利用の1棟当たりの割合(必須)</p> <p>③ 標準的な地域材の使用部位(必須)</p> <p>④ 地域材の流れ(フロー図)などグループの取組に関する補足説明</p>	<p>主要構造材の過半を地域材とする。 柱・2階梁桁を乾燥材又は集成材とする。 2階床下地合板24mm以上の構造用合板とし地域材を使用</p> <p><input type="checkbox"/> 50%未満 <input checked="" type="checkbox"/> 50%以上 <input type="checkbox"/> 80%以上</p> <p>土台: <input checked="" type="checkbox"/> 使用していない <input type="checkbox"/> 使用している 柱: <input type="checkbox"/> 使用していない <input checked="" type="checkbox"/> 使用している 梁・桁等の横架材等: <input type="checkbox"/> 使用していない <input checked="" type="checkbox"/> 使用している 羽柄材 間柱、根太、垂木等: <input checked="" type="checkbox"/> 使用していない <input type="checkbox"/> 使用している 造作材 枠材、廻縁等: <input checked="" type="checkbox"/> 使用していない <input type="checkbox"/> 使用している 板材 壁板、床板等: <input checked="" type="checkbox"/> 使用していない <input type="checkbox"/> 使用している</p> <p>岩手県産材証明制度</p> <p>I 原木(岩手県産材) ⇒ II 製材・集成材・合板⇒III建材流通⇒VI施工 岩手県産材証明書 岩手県産材 証明書(納品書添付)</p> <p>合法木材証明制度 (全国)FIPC(全国) PEFC(国外)</p> <p>I 原木(国内・国外) ⇒ II 製材・集成材・合板⇒III建材流通⇒VI施工 合法木材出荷証明書 合法木材出荷証明書(納品書添付)</p> <p>IV プレカット(賃加工)の為証明書への関与は無い II 製材業者が、VI施工に直接販売することがあり、この場合III建材流通は無い I 原木業者は、産地・出荷者が多岐にわたる為、所属団体及びII製材・集成材・合板構成員が証明の代替する。</p>
b	<p>①-1 地域材在庫把握の仕組</p> <p>①-2 地域材価格の共有の仕組</p> <p>② グループ全体における地域材の需給予測</p>	<p><input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 年間販売予測による計画発注と、適正在庫の確保</p> <p><input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 地域材は価格変動が少なく、年間契約で価格の安定を図っている。</p> <p><input type="checkbox"/> 行っていない <input checked="" type="checkbox"/> 行っている → 内容: 過去3年間のデータによって需要予測を実施</p>
c	<p>①-1 畳の活用</p> <p>①-2 和瓦の活用</p> <p>①-3 襖の活用</p> <p>①-4 障子の活用</p> <p>②-1 その他地域の伝統的な素材の活用</p> <p>②-2 その他地域の伝統的な意匠の活用</p>	<p><input checked="" type="checkbox"/> 行っていない <input type="checkbox"/> 行っている → 内容: 置き畳の利用、小上りに畳の使用</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 行っていない <input type="checkbox"/> 行っている → 内容:</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 行っていない <input type="checkbox"/> 行っている → 内容:</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 行っていない <input type="checkbox"/> 行っている → 内容:</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 行っていない <input type="checkbox"/> 行っている → 内容: 赤松 化粧太鼓梁 栗 土台 赤松床板</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 行っていない <input type="checkbox"/> 行っている → 内容:</p>
d	<p>① 地域の伝統的なデザインを継承する取組</p> <p>② 地域の住まい方の継承につながる取組</p> <p>③ 地域の街並み形成へ寄与する取組</p> <p>④ 和の住まいの要素を取入れた取組</p>	<p><input checked="" type="checkbox"/> 行っていない <input type="checkbox"/> 行っている → 内容:</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 行っていない <input type="checkbox"/> 行っている → 内容: 近隣住宅へ落雪被害が無い様な屋根形状や雪止めの設置</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 行っていない <input type="checkbox"/> 行っている → 内容: 敷地内に植栽を行い、省エネに寄与する</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 行っていない <input type="checkbox"/> 行っている → 内容: 和紙クロス等の活用</p>
その他 ※上記項目以外でグループ独自のルール・目標があれば記入してください。		
カ. その他		
【平成29年度対応方針】		◎、○ 記入欄
東日本大震災の復興に資する取組	被災事業者の製品をグループとして活用	◎
平成28年熊本地震の復興に資する取組	耐震等級3に対する取組を参考に、グループ内で検討する	○

※) 行の高さについては記載する文章の長さなどにより適宜、調整して下さい。

1. 地域型住宅の名称・対象地域(必須)	(地域型住宅の名称) 活木活木(いきいき)住宅	(地域型住宅供給対象地域) 青森県、岩手県、秋田県
2. グループの名称・結成年月(必須)	(グループの名称) いえもりの会北東北	(結成年) 2009年
3. 過去のブランド化事業採択グループ番号(必須)	04-0215-0061	

4. 地域型住宅グリーン化事業のねらいに対する取り組み

キ. グループが取組む木造住宅・建築物の特徴

※この項目は、高度省エネ型、優良建築物型を申請するグループのみ記入してください。

※申請に係る認定低炭素住宅、性能向上計画認定住宅、ゼロ・エネルギー住宅、優良建築物の性能や特徴等について記入してください。

- 省エネ法の省エネ基準に比べ、一次エネルギー消費量が△10%以上となること。
- その他の低炭素化に資する措置が講じられていること。

定量的評価項目(必須項目)

○省エネ法の省エネ基準に比べ、一次エネルギー消費量(家電等のエネルギー消費量を除く)が△10%以上となること。(※)

〈戸建住宅イメージ〉

※省エネルギー法に基づく省エネルギー基準と同等以上の断熱性能を確保することを要件とする。

選択的項目

省エネルギー性に関する基準では考慮されない、以下に掲げる低炭素化に資する措置等のうち、一定以上を講じていること。

○HEMSの導入

エネルギー使用量の「見える化」などにより居住者の低炭素化に資する行動を促進する取組を行っている。

○節水対策

節水型機器の採用や雨水の利用など節水に資する取組を行っている。

○木材の利用

木材などの低炭素化に資する材料を利用している。

○ヒートアイランド対策

敷地や屋上、壁面の緑化などヒートアイランド抑制に資する取組を行っている。

※) 行の高さについては記載する文章の長さなどにより適宜、調整して下さい。